

目次



提言の要約	1
はじめに	2
第1章【現状】自治体を取り巻く現状	2
第1節 児童・生徒数の減少について		
第2節 厳しい財政状況について		
第3節 廃校の取扱いについて		
第2章【課題】廃校後の施設が抱える課題	4
第1節 廃校等活用状況の実態について		
第2節 廃校施設等活用の課題について		
第3章【研究】財政負担の少ない廃校施設の活用を考える	8
廃校施設の活用事例		
第4章【提言】廃校施設の在り方を地域と共に考える	9
第1節 廃校活用時の検討事項について		
第2節 施設活用のプロセス		
－行政内部での検討		
第3節 地域の声を引き上げるシステムの構築		
－住民との情報共有・合意形成		
第4節 取り壊しに関する補助金制度の提案について		
おわりに	13

【提言の要約】

今後の公共施設の維持管理について

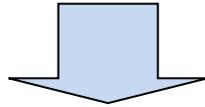
—今後の少子化、厳しい財政状況における小中学校の廃校の道筋—

【現状】

① 児童・生徒数の減少

② 厳しい財政状況

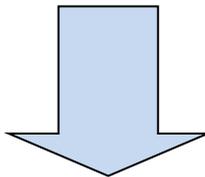
③ 学校施設の廃校数の増加



【課題】

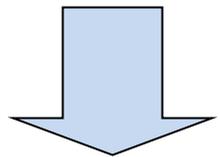
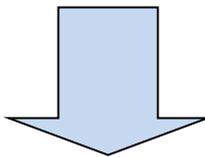
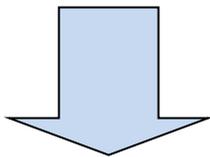
①廃校活用に関して、地域住民と情報共有・合意形成が十分でない。

②自治体の財政状況を勘案しなければならない。



【提言】

『廃校施設の在り方を地域と共に考える』



【施策1】

○活用・取り壊し等の検討プロセスフローチャートの作成

【施策2】

○地域の声を吸い上げるシステムを構築

【施策3】

○取り壊しに関する補助金制度の提案